

### 第3回 アジア人材還流学会2023 フェ国際セミナー 報告

テーマ： 日本語教育を巡る日越ステイクホルダーの協働  
—異文化理解を通して新たな理念の創造を目指す「協働」による議論の場の実現—

第3回アジア人材還流学会（看護介護の日本語教育研究会／ビジネス日本語研究会／協働実践研究会）は、2023年9月17日にベトナム、フェ大学外国語大学において無事に終了しました。この第3回については、三つの研究会のうち協働実践研究会が企画・運営・実施の主担当でした。昨年ハノイ大会につづき、再びベトナムでの開催とした理由は、一つには、周知のごとく日本語学習者を多く抱える国であることです。もう一つは、今年は日越友好50周年という記念の年だからです。今年、ベトナム国内では、多くの大学が国際大会や国際セミナー、シンポジウムなど次々に開催しています。とくに8月、9月の時期は、日本の研究者の移動しやすい時期とあって、日本人大学関係者が多く来越していたようです。

本セミナーは開催会場としてフェ外国語大学の図書館棟を使用しました。眺めのよいきれいな建物でした。しかし、開催の数日前よりフェ大学がベトナム政府の大学監査の時期と重なってしまったため、会場や前日リハーサルの一部変更、当日のプログラム登壇者の入れ替えなど、いくつかの予期せぬ事態が起きました。けれども、運営委員をはじめ、ご参加のみなさまの熱心な参加と温かいご協力により、本セミナーは予定したプログラムの全てを問題なく終了することができました。参加者は現地参加者約150名（ベトナム各地からの大学や日本語機関関係者、企業関係者、現地学生）、オンライン参加者約60名（主に日本からの参加者に加え、タイ、中国からの参加）でした。

今回の大会の特徴としては、企業関係者による基調講演を行ったこと、三つの研究会による教師研修会を全てワークショップで行なったこと、そして昨年に引き続き全体をハイフレックス実施としたことです。



セミナー開会式冒頭では、フエ外国語大学副学長のご挨拶、アジア人材還流学会会長のご挨拶がありました。次の基調講演では、双日株式会社ベトナム支社長、エール学園からのお話があり、その後、まず、最初の教師研修プログラムとして「協働実践研究会」がワークショップを行いました。

### 【協働実践研究会による教師研修ワークショップ】

#### ティーチング・ポートフォリオ作成体験—ベトナムにおける対話型教師研修を目指して

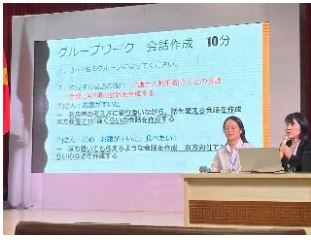
登壇者：金孝卿（麗澤大学）、池田玲子（昭和女子大学）、山田真知子（大阪大学）、グエン・ティー・クイン・ニュー（フエ大学外国語大学）

\*ホーダン・ミーアン（フエ大学外国語大学）は監査のため（面接）欠席

本研修会場には約45名の参加者とオンライン上に約60名の参加がありました。最初に池田が日本語教育の協働学習の紹介、教師の日々の実践をどうするかの問題提起を行った後、金（麗澤大学）さんのファシリテートにより、教師が自分の実践を振り返るための一つのツールを使った対話型研修を行いました。ベトナム人参加者については、クイン・ニューさん（フエ外国語大学）が活動をサポートしました。講義部分は会場参加とオンライン参加者が共通参加とし、体験活動の時間には、オンライン参加者については、日本から館岡洋子さん（早稲田大学）と山田さん（大阪大学）が画面上でオンライン上の活動をファシリテートしました。これは本研究会の研修において「会場・オンライン同時の異なる活動進行」という初の試みでした。どちらの会場とも非常に活発な議論の様子うかがえました。最後に会場とオンラインが一緒になって活動の全体を振り返りました。参加者の多くは初めて自分の日々の実践を振り返り、自分がどのような理念のもとに実践を行っていたのか、今後何が課題となるのかについて考えてもらいました。まとめのセッションでは、参加者の皆さんからは力強い、興味深いコメントが出されました。

### 協働実践研究会 WS





### 看護介護の日本語教育研究会 WS

「看護介護の日本語教育研究会」の研修では、神村さん（日越大学）、西郡さん（首都大学）がワークショップのファシリテートを担当しました。介護現場において、どのような日本語表現で利用者さんへのケアにあたるのかの難しさと重要性について深く理解するための研修でした。



### ビジネス日本語研究会

「ビジネス日本語研究会」の研修では、登壇者の近藤さん（昭和女子大学）を中心に職場の異文化が引き起こすトラブルから学ぶためのケース学習の実践方法についての講義の後、ベトナムの日本語教師によるファシリテートで参加者は、この授業での学習者体験をしました。

口頭発表は全部で19本でした。このうち、8本は日本からのオンライン発表でした。現地発表はベトナム人参加者と日本から現地参加した方が発表しました。オンライン会場では、日本からの発表に対し、会場参加者とオンライン参加者の間で質疑応答を行いました。どちらの会場とも活発な議論がなされていました。

本セミナーはベトナム時間の8時30分にスタートし、閉会式でのアジア人材還流学会副会長のご挨拶が終わったのは、現地時間の18時でした。長時間にわたるセミナーでしたが、参加者のほとんどが最後の閉会式まで参加されていました。

次回第4回アジア人材還流学会の開催については、開催地、開催テーマなどの決定後に公開いたします。もうしばらくお待ちください。

皆様には次回の大会にも奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

文責：池田玲子